

参院選学校模擬投票特集 40号

2010年6月28日 芝浦工大柏中学高等学校社会科



投票は、中学が7月8日(木)、高校が9日(金) 昨年続く未成年模擬投票に取り組もう

昨年の政権交代の後、鳩山内閣が普天間基地移設問題や政治資金の問題で迷走を続け、6月2日に小沢幹事長と共に辞任。菅直人副首相が後継首相となり、8日に任命された。「強い経済、財政、社会保障」を打ち出したが、17日に消費税アップに言及し超党派の議論を呼びかけた。24日公示で第22回参院選がスタート。投票は来月11日(日)。すでに期日前投票が始まった。W杯も見たいだろうが、選挙公報やマニフェスト、CMなどをしっかり読んで判断してほしい。親や友達とも語り合ってみよう。

争われる、参院の過半数 / 民主党対自民党

立候補者は437人が立候補。民主党が106人と自民党84人を上回る。女性は100人、世襲候補者が41人、自民18人、民主10人、みんな8人である。過半数攻防を左右するのは29ある1人区で、民主対自民の対決が大半。また、12ある2人区の11に民主党が独占を目指して2人を立てた。比例区の動向もあるが、この選挙区の勝ち負けによって、菅政権の命運が大きく左右されることになる。

注目される本校の投票結果

8-9日早朝に配付される投票用紙に各自で記入し、生徒昇降口の受付で本人確認の後、投票箱に入れよう。選ぶのは比例代表の政党である。学校模擬投票は本校が日本で最初に2003年衆院選で実施し、今回が7回目。18歳選挙権の方向が出ている中で、若者がどれほど真剣に投票できるのか、本校の投票結果は注目され、昨年は自民がトップとなって大きな話題となった。大人と同じ気持ちになって、

非拘束名簿式比例代表制

有権者は、投票所で2票を投ずる。第1は選挙区。投票は立候補者の個人名を書き、得票順に定員数まで当選する。第2は比例代表。投票は政党名か立候補者名を書き、その合計得票に比例して各政党の当選者数(議席)が決まる。政党は、あらかじめ立候補者名簿を提出するが、名簿に順位がふってない。候補者個人の名前が書かれた票数をその候補者が得た票としてカウントし、得票数の多い候補者から順に当選とする。

ねじれ国会

前回2007年参院選挙(半数改選)で、当時与党の自民党が大敗北し、与党議席数が定数242人の過半数を割った。野党の民主党などの勢力が与党提出法案を否決できるので、与党が自由に政策を推進できなくなった。今回与党が過半数をとれないと、これと同じ状態となり、菅政権の政策推進力が大きく失われることになる。

どの政党が日本の政治を担当すべきか、いろいろ調べ、真剣に考えて投票してもらいたい。

お勧めサイト.....政党や議員の考え方や政策をじっくり比較して決めたい人には、以下のサイトが参考になるので使ってほしい。

・選挙情報が多い「Yahoo!みんなの政治」

<http://senkyo.yahoo.co.jp/>

・20や25の質問に答えると一番政策的に近い政党が選べる「ポートマッチ」、毎日と読売にあり。

<http://mainichi.jp/select/seiji/eravote/09votematch/etc/>

<http://vote.yomiuri.co.jp/question.html>

<各政党の党首 第一声>

公示日の党首第一声を紹介します。模擬投票の参考にしてください。(『朝日新聞』などを参考)

他党と増税協議 理解を(民主党:菅直人代表 左)

政権交代に期待を受けてご支援を受けた昨年の秋から9カ月、政治とカネ、普天間問題など不十分なところがあった。原点に立ち返って頑張り抜きたい。財政再建はまず無駄の徹底的な削減、次に経済の強化、成長。社会保障や保育は経済が成長する分野でもある。赤字国債で埋めるのが十年先までもつかが問われる。消費税という応援できないという人がいるが、ギリシャのような年金カットの事態は避けたい。他党と早期に話し合うことを理解してほしい。試行錯誤の反省を踏まえ、今度は危ういリーダーシップではなく、実行できる力を与えてほしい。



民主政権に歯止め、使命(自民党:谷垣禎一総裁 右)

この参院選で10カ月の民主党政権をしっかりと採点してもらおう。バラマキで雇用や成長ができるか。民主党政権に歯止めをかけるのが自民党の使命だ。自民党がもう一回信頼頂けるかを試す選挙である。あらゆる政策を動員し、日本が成長できる国だと実証し、雇用を作る。普天間の迷走で日本は信用を失った。世界から信頼される日本に作り直す。ばらまきをやめ、言いにくいことも言う。消費税を言うのは勇気があるが、社会保障をきちんとし、将来国民に責任をもつことを明らかにする。

菅氏、鳩山氏と同責任(公明党山口那津男代表 左)

政権交代後の民主党の政権運営に審判を下す選挙だ。予算委員会をやらない逃げ得は許さない。鳩山政権はマニフェストを掲げながら簡単に変える連続だった。「政治とカネ」でもウソをつき、普天間問題でも社民党を裏切った。消費税を「10%にあげる」と突然言い出し、党内議論もないままに閣内から疑問がでている。足元が揺らぐ中で10%を言うのは国民への裏切りだ。



消費税大連合に審判を(共産党志位和夫委員長 右)

民主党は強い経済の目玉として法人税の減税、強い財政として消費税増税を打ち出している。自民党や他の政党も増税も先々増税と言っている。これでは消費税の大連合がつくられてしまう。普天間問題も国民の総意を踏みにじるものであり、米国にも財界にも堂々とモノを言える共産党を伸ばしてこそ、暮らしが良くなる。消費税増税に絶対反対という思いを託してほしい



辺野古に基地作らせぬ(社民党:福島瑞穂代表 左)

今回の選挙は消費税を10%にするのをストップする選挙であり、辺野古の海に基地を作らせないための選挙でもある。生活再建のために労働者派遣法を改正し、時給千円以上を確保する。所得税の最高税率を十数年前に戻し、後期高齢者医療制度を廃止し、子ども手当は一万三千円にする。

消費税増税 断固許さない(国民新党:亀井静香代表 中)

消費税の増税は庶民をいじめる話、断固許さない。今やるべきなのは都会も田舎も元気にする大胆な景気対策だ。財務省主計局の手のひらに乗せられて国が縮む政策はやらせない。外国人参政権や夫婦別姓の導入に反対し、日本の良き文化、伝統は守り抜く。

国会議員自ら身を削る(みんなの党:渡辺喜美代表 右)

国会議員定数を4割以上削減し、国家経営のリストラを行った上で消費税の議論をしなければならない。みんなの党は増税をしなくても、年4%以上の経済成長で10年後にはお給料も1.5倍という提案をしている。ばらまきをやめ、小さな政府をつくる。民間や地域が主役の成長国家を目指す。

この他に、立ち上がり日本・新党改革・改革クラブなどが候補者を出している。